

第3回ワークショップの結果概要

1 地域別実行計画の方針（案）について

1) 方針（案）全般

- 地域別の実行計画なのだから、市全体の方向性よりもワークショップでの意見を踏まえ、地域の現状を反映した方向性（ハッチ部分）の方を重視し、先に記載すべきではないか。
- 富山市でも推進しているSDGsでは「誰ひとり取り残さない」と謳っているにも関わらず、方針（案）では「廃止」や「見直し」という文言が散見されるので、この地域が取り残されてしまう感じがする。
- 視点①地域の活性化の課題解決の方向性として「企業誘致」を入れられないか。コンビニや病院などの地域に不足している機能を満たすだけでなく、地元雇用が生まれたり、他地域の人がそこで働くことによって細入との接点ができるなどの効果が期待できる。

2) 個別具体施設

(1) 集会施設

- 今後の方向性案に「2 地区の集会施設は当面維持する」とあるが、市の方向性や中長期的取組みとしては「集会施設を 1 つに集約化することを検討する」としているため、最終的には 1 つにしたいという市の思惑を感じる。しかし、峠を挟みコミュニティが 2 つに分かれている地域特性を考えると、人口が減ってもこの地域で集会施設を 1 か所にすることは考えられない。
- 峠があり南北に長い細入地域にとって、集会施設は災害時に重要な役割を果たす施設でもある。想定外の台風などの災害が起きている近年の状況を考えるとその重要性は高まっているので、市全体の方向性よりも地元の意見を反映させた方向性を優先させてほしい。
- コスト削減のために規模を小さくしたり、他の施設と複合化しても良いので、2つの公民館を維持してほしい。中長期的な取組みとして、「集会施設を他の機能と複合化して機能を維持していく」としてはどうか。
- 集会施設を 1 つに集約することになったら、隣接する大沢野の下夕地区との連携などを考えながら、コミュニティの維持や災害時対応について検討する必要がある。

(2) 図書館・博物館等

- 図書館は学校に付随しており、確かに学校のあり方を踏まえる必要があるだろう。学校は残したいので、そうになったら図書館も残すべきだ。

(3) スポーツ施設

- 最初は抵抗があるかもしれないが、公平性や受益者負担の観点から猪谷プールを有料にするのは仕方がないと思う。
- 市内の他のプールと比較して、猪谷プールの設備は有料にできるだけのものなのか。設備のレベルに応じて有料化を検討すべきだと思う。無料だから来ている人もいると思うので、有料化によって利用率が下がることが気になる。
- 夏の後半は利用者が少なくなるので、短期的取組みとして「効率化の観点から夏季の営業期間や運営時間の短縮を検討する」ことを追加してはどうか。

(4) レクリエーション・観光施設

- 「民間のノウハウを活用して運営の工夫を行う」とあるが、現在でも地域の会社が運営を担っている。しかし、市の権限が大きく、会社側が様々な提案をしても採用されないことが多いので、地域の会社にもう少し経営を任せても良いのではないか。
- 道の駅にも防災機能が必要だと思うので、林林に発電機などを設置し、避難施設としての役割を持たせてはどうか。
- 天湖森や林林に、ファミリー層が来てお金を落としてくれる遊園地や規模の大きいアスレチックなどを、民間活力を使って導入できると良い。

(5) 学校

- 小中学校のあり方の見直しは、将来的にもっと児童、生徒が減り、統廃合しても仕方がないという理解が広まってから行うことではないか。「学校統廃合を含め」という文言には市の思惑を感じるだけでなく、学校の存続に向けて地域が動いている現状に水を差す。
- 短期と中長期の文章の差がわからない。短期の方で「学校の統廃合」について触れているが、むしろ中長期に入れた方が良い文言ではないのか。
- 「小中学校のあり方の見直し」で言っているあり方とは、統廃合のことだけを指しているように思えるが、存続させる方向でのあり方をもっと検討すべきではないか。細入地域では小学校と中学校が一体化しており設備が整っているので、小中一貫校にするのに向いていると思う。
- 放課後にバスを出して他校の部活に行けるようにすれば、部活動数の少なさは解決できるだろう。
- 学校のことは保護者の考えを聞くべきという意見もあるようだが、子どもを学校に通わせているのは一時期のことなので、保護者だけでなく様々な世代の人の意見を聞いて検討すべきだと思う。

(6) 幼保・子ども園

- 車で送迎できない保護者にとって、地域に保育所があるのは重要だ。保育所が近くにあることで若者世代が地域に残ることにつながると思うので、園児がいらないから統合しても良いと簡単に結論づけないでほしい。

■ A案

- 細入公民館はバリアフリー化されていない上に、老朽化しているので遠からず耐震対策や再編を考えなくてはならない。存置することは現実的ではない。
- デイサービスがなくなると存置となっている部分が空き、スペースが無駄になってしまうのでこの案は考えづらい。

■ B案

- 総合福祉センターをリニューアルして公民館にあるホールや調理室が整備できるのであれば、施設が充実するので良い。デイサービスがなくなれば存置部分も使えるので、スペースに余裕ができるのではないかな。
- 公民館は近いうちに再編の必要が出てくるので、総合福祉センターの方に中核型地区センターを移転する方が良い。総合福祉センターはバリアフリー化されているし、平屋なので改修もしやすいのではないかな。
- 全ての機能が一か所に集約できるので、利便性が高まり、より充実した施設になると思う。管理コストも削減できるのではないかな。
- 避難所や雨天の祭りの場としての活用を考えて、ホールの広さを確保してほしい。
- ホールの広さは現在の公民館のホールほどは必要ないが、ブラスバンドの練習ができるだけの広さは確保し、常設ではなくても良いので可動式のステージは設置できると良い。
- 調理室は市民活動グループが市からの委託で食生活改善セミナーを実施するなど、様々な活動で使われているので、これまでと同様の設備を整えてほしい。
- 中核型地区センターと公民館の跡地を全天候型のグラウンドなどとして使えると良い。いずれにせよ跡地活用についても地域の意見を聞きながら進めてほしい。

- 大掛かりな改修になり予算が足りないのであれば、公民館を耐用年数いっぱいまで使ってから移転するなど、段階的に進めても良いのでこの案を実現してほしい。
- 中核型地区センターと公民館を移転した後は、速やかに解体して更地にしてほしい。長期にわたって建物が残ると防災、防犯面が心配だ。

■ C案

- バリアフリー化されていない上に、老朽化していて遠くない将来に耐震対策や再編をしなくてはならないことを考えると、細入公民館に中核型地区支援センターを入れるのは現実的ではない。
- 中核型地区センターの機能を移転するのに、公民館の前方スペースの改修だけで足りるのか疑問だ。

■ 共通の内容

- 家に風呂のない居住者が総合福祉センターの風呂を利用しており、日常生活に必要なものになっているので、改修の際になくさない方が良い。
- 複合化した施設に地元の特産品を販売するスペースができると良い。
- 現在の児童館は手狭なので、総合福祉センターか北部コミュニティセンターに移転すると良い。
- 北部地区コミュニティセンターの廃止を決める前に、PR を積極的に行ったり、利用ルールを柔軟にすることで利用率を上げる努力をしてほしい。
- 北部地区コミュニティセンターを地元で譲渡されても維持管理費や修繕費のことを考えると運営するのは難しいと思うので、民間に譲渡した方が良い。簡単に廃止を決めず、市には真剣に譲渡先を探してほしい。
- 北部地区コミュニティセンターを民間に譲渡するのであれば、コンビニや地場産品の販売所等の導入や、地元住民が交流したり運営に関わってやりがいにつながる仕組みづくりを考えられると良い。

3 評価項目について

①地域の活性化

- 課題解決の方向性に企業誘致を追加するならば、企業誘致に関する評価項目を入れた方が良い。

③利便性の確保

- 「機能の質を維持しつつ統廃合を進めることにより」とあるが、現時点ではこの統廃合の対象に学校を含めないでほしい。
- 課題解決の方向性では交通の利便性にも触れているので、評価の項目としても「交通の利便性が向上するか」を入れてほしい。

④安全性の確保

- 避難所は配置だけでなく、電気や水が確保されるか、災害弱者にとっても快適かなど、避難時の過ごしやすさも重要なので、その点も評価できると良い。

⑤利用しやすさ・運営の工夫

- 評価項目に「民間ノウハウを取り入れて運営面が強化される可能性があるか。」とあるが、()で示されていて評価方法も記載されていない。項目だけ挙げて評価はしないのであれば削除しても良いのではないかと。

4 その他

- デイサービスが継続されるか否かについて市からは明確な返答がなかったが、地域との情報共有は重要なことであり、ワークショップの議論にも影響することなので、次回までに確認して報告してほしい。